

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第81期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第2四半期 連結累計期間	第81期 第2四半期 連結累計期間	第80期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	1,337,959	1,362,214	2,648,943
経常利益(千円)	72,170	62,618	64,320
四半期(当期)純利益(千円)	42,523	35,216	88,528
四半期包括利益又は包括利益(千円)	28,168	31,048	146,719
純資産額(千円)	1,864,177	1,992,245	1,982,706
総資産額(千円)	3,160,240	3,080,330	3,259,325
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	20.08	16.63	41.80
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	57.3	62.9	59.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	124,238	155,872	226,843
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	32,610	58,516	141,134
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	64,809	45,588	122,692
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	424,760	218,014	360,959

回次	第80期 第2四半期 連結会計期間	第81期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	13.65	17.12

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当社グループの平成26年3月期第2四半期の売上高につきましては、前年は関西方面で実施された夏場の電力抑制に伴い一部の得意先において販売時期の変動がありました。例年通りの生産体制になったことや堅調に受注が推移したことで前年を若干上回り、売上高13億6千2百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加や稼働率及び製造歩留りの向上及びさらなる経費削減に取り組みましたが、製造経費の主要費目である加工燃料費が都市ガス料金の価格が高めに推移し増加したことや、夏場の酷暑に伴い冷房などの空調設備の稼働増で電気料金が増加したことにより、営業利益5千4百万円（前年同期比15.9%減）、経常利益6千2百万円（同13.2%減）、さらに、役員退職慰労引当金の減少に伴い法人税等調整額が増加したことで四半期純利益3千5百万円（前年同期比17.2%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (総資産)

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億7千8百万円減少し30億8千万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が7千4百万円及び繰延税金資産が3千6百万円増加した一方で、有価証券が1億3千6百万円、現金及び預金が1億1千9百万円及び商品及び製品が2千1百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して1億8千8百万円減少し10億8千8百万円となりました。これは主に繰延税金負債が4千6百万円及び買掛金が1千3百万円増加した一方で、役員退職慰労引当金が1億7千7百万円、社債が2千5百万円及び未払法人税等が1千4百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して9百万円増加し19億9千2百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が6百万円減少した一方で、利益剰余金が1千4百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億4千2百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2億1千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、1億5千5百万円（前年同四半期は1億2千4百万円の資金増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上6千2百万円、減価償却費3千4百万円及びたな卸資産の減少による収入2千万円があった一方で、役員退職慰労引当金の減少1億7千7百万円、売上債権の増加7千4百万円及び法人税等の支払2千5百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、5千8百万円（前年同四半期は3千2百万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の預け入れによる支出1億4千3百万円及び有形固定資産の取得による支出5千4百万円があった一方で、定期預金の払い戻しによる収入2億5千7百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、4千5百万円（前年同四半期は6千4百万円の資金減少）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入1億円があった一方で、長期借入金の返済による支出9千9百万円、社債の償還による支出2千5百万円及び配当金の支払による支出2千万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		2,142,000		107,100		582

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の割 合(%)
小熊 信一	千葉県市川市	975	45.51
末松 國彦	福岡県行橋市	133	6.24
小熊 雄二	福島県いわき市	123	5.76
小熊 千恵子	東京都文京区	116	5.43
前田硝子株式会社	東京都品川区東大井1-6-1	86	4.02
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1-3-3	75	3.52
第一三共株式会社	東京都中央区日本橋本町3-5-1	62	2.89
石川 誉	栃木県鹿沼市	46	2.14
中央商工株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-44-4	28	1.32
東京東信用金庫	東京都墨田区東向島2-36-10	28	1.32
計		1,675	78.19

(注) 所有株式数は千株未満切り捨て、所有株式数の割合は小数第2位未満を切り捨てて記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,000	21,130	
単元未満株式	普通株式 4,900		
発行済株式総数	2,142,000		
総株主の議決権		21,130	

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が64株含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所 有株式数 (株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	24,100		24,100	1.12
計		24,100		24,100	1.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	346,163	226,416
受取手形及び売掛金(純額)	<sup>2</sup> 698,237	<sup>2</sup> 772,517
有価証券	215,635	78,696
商品及び製品	349,327	327,570
仕掛品	3,439	2,570
原材料及び貯蔵品	36,639	38,494
未収入金	37,049	30,386
繰延税金資産	31,851	68,601
その他	4,452	2,221
流動資産合計	1,722,796	1,547,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	319,723	326,753
機械装置及び運搬具(純額)	135,181	132,583
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	8,444	11,065
その他(純額)	9,108	7,737
有形固定資産合計	918,554	924,236
無形固定資産	2,292	2,097
投資その他の資産		
投資有価証券	571,916	563,021
その他	56,002	51,117
貸倒引当金	12,237	7,617
投資その他の資産合計	615,681	606,521
固定資産合計	1,536,529	1,532,855
資産合計	3,259,325	3,080,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	123,275	136,758
1年内返済予定の長期借入金	158,600	161,400
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	26,910	12,745
未払事業所税	7,286	3,619
賞与引当金	55,773	58,310
その他	135,928	106,352
流動負債合計	557,774	529,186
固定負債		
社債	50,000	25,000
長期借入金	160,400	158,000
繰延税金負債	66,370	112,880
退職給付引当金	120,052	118,352
役員退職慰労引当金	293,355	115,918
資産除去債務	28,666	28,747
固定負債合計	718,845	558,898
負債合計	1,276,619	1,088,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,542,709	1,556,747
自己株式	8,435	8,450
株主資本合計	1,641,956	1,655,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287,567	281,227
その他の包括利益累計額合計	287,567	281,227
少数株主持分	53,182	55,038
純資産合計	1,982,706	1,992,245
負債純資産合計	3,259,325	3,080,330

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,337,959	1,362,214
売上原価	1,058,868	1,083,374
売上総利益	279,090	278,839
販売費及び一般管理費	214,407	224,418
営業利益	64,683	54,421
営業外収益		
受取利息	219	106
受取配当金	7,526	7,937
受取賃貸料	3,737	4,601
その他	3,162	2,869
営業外収益合計	14,646	15,515
営業外費用		
支払利息	3,408	2,656
賃貸費用	3,101	3,440
その他	649	1,220
営業外費用合計	7,159	7,317
経常利益	72,170	62,618
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	-	375
特別損失合計	-	375
税金等調整前四半期純利益	72,170	62,243
法人税、住民税及び事業税	22,280	11,585
法人税等調整額	5,665	13,270
法人税等合計	27,946	24,856
少数株主損益調整前四半期純利益	44,224	37,387
少数株主利益	1,700	2,171
四半期純利益	42,523	35,216

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	44,224	37,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,055	6,339
その他の包括利益合計	16,055	6,339
四半期包括利益	28,168	31,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,468	28,877
少数株主に係る四半期包括利益	1,700	2,171

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	72,170	62,243
減価償却費	34,567	34,304
賞与引当金の増減額(は減少)	271	2,537
貸倒引当金の増減額(は減少)	34	87
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,819	177,437
退職給付引当金の増減額(は減少)	11,528	1,700
受取利息及び受取配当金	7,746	8,044
支払利息	3,408	2,656
ゴルフ会員権売却損益(は益)	-	375
売上債権の増減額(は増加)	7,040	74,366
たな卸資産の増減額(は増加)	51,375	20,771
未収入金の増減額(は増加)	31,622	6,662
仕入債務の増減額(は減少)	9,128	13,482
未払消費税等の増減額(は減少)	6,039	225
その他	1,196	20,474
小計	155,044	138,675
利息及び配当金の受取額	7,750	8,062
利息の支払額	3,439	2,727
法人税等の支払額	35,117	25,750
法人税等の還付額	-	3,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,238	155,872
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	128,722	143,383
定期預金の払戻による収入	122,714	257,124
有形固定資産の取得による支出	25,847	54,130
投資有価証券の取得による支出	945	983
その他	189	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,610	58,516
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	80,000	100,000
長期借入金の返済による支出	103,925	99,600
社債の償還による支出	25,000	25,000
自己株式の取得による支出	-	14
配当金の支払額	15,884	20,658
少数株主への配当金の支払額	-	315
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,809	45,588
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	26,818	142,944
現金及び現金同等物の期首残高	397,942	360,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	424,760	218,014

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	171,100千円	190,752千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	907千円	994千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
運賃及び荷造費	30,005千円	31,210千円
役員報酬	44,615	35,506
給料及び賞与	53,467	54,805
退職給付費用	5,389	7,285
役員退職慰労引当金繰入額	4,819	6,632
賞与引当金繰入額	11,475	11,862
減価償却費	4,385	3,983

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	315,958千円	226,416千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	124,719	87,098
有価証券勘定	233,522	78,696
現金及び現金同等物	424,760	218,014

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	21,178	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間  
(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動があるものの企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	20円08銭	16円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	42,523	35,216
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	42,523	35,216
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

不二硝子株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 奈尾 光 浩  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 伊集院 邦 光  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。